

芭蕉の句・拓本展

出品目録

【書籍・その他】

28. 『おくのほそ道』安東次男
(岩波書店・1983)
29. 『おくのほそ道行』森本哲郎
(平凡社・1984)
30. 『続「奥の細道」を歩く』山本塔
(柏書房・1982)
31. 『芭蕉句碑を歩く』埼玉の104基
小林甲子男(さきたま双書・1982)
32. 『奥の細道』「日本発見」第27号
(暁教育図書・1981)
33. 『おくのほそ道』越路紀行
「朝日旅の百科」(朝日新聞社・1985)
34. 『おくのほそ道』陸奥紀行
「朝日旅の百科」(朝日新聞社・1985)
35. 『「奥の細道」の旅』「別冊るるぶ愛蔵版6」
(日本交通公社出版・1979)
36. 『文学と史蹟の旅路』シリーズ(6冊)
(1974~1978・學燈社)
37. 東憲夫さんの旅のアルバム(2冊)
38. 東憲夫さんが碑の管理者に申請した
「採拓許可証」をまとめたファイル
39. 東憲夫さんが旅中に集めたパンフレットや
イラストマップなどの資料集
40. 東憲夫さんが使った拓本の道具類
(刷毛や拓本墨など)5点

【合計40種50点】

芭蕉の句・拓本展

拓本でたどる「おくのほそ道」

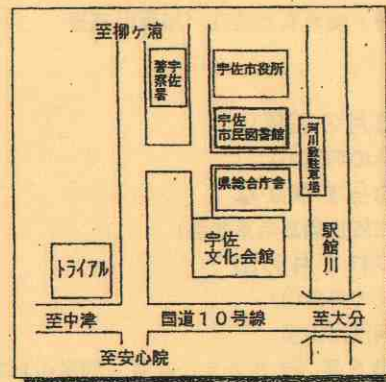
こあいさつ

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」という有名な書き出しで始まる松尾芭蕉の「おくのほそ道」。「人生すなわち旅」というこの人生観を、芭蕉は実生活のなかで徹底しました。今から330年前の延宝8年(1680)、芭蕉は東京深川に住み始めますが(のちの芭蕉庵)、約10年間住み慣れたその庵を閉じて「おくのほそ道」の旅に出ます。書齋を捨て、旅に生きることで、人生の真実を求めたのです。

今回は、市内在住の東憲夫さんから寄贈された自作の拓本55点のなかから、23点を紹介します。拓本でたどる「おくのほそ道」の旅を楽しんでいただければ幸いです。

平成22年(2010)6月15日

宇佐市民図書館
渡綱記念ギャラリー



平成22(2010)年6月15日/編集・発行 宇佐市民図書館
大分県宇佐市上田1017-1 TEL. 0978-33-4600

芭蕉の句 拓本展

拓本でたどる「おくのほそ道」



許六筆
芭蕉行脚図

2010.6.15~7.11

10:00~18:00(日曜のみ ~17:00)
休館日…毎週月曜日・月末木曜日

宇佐市民図書館
渡綱記念ギャラリー

芭蕉の句・拓本展

出品目録

【拓本】

1. 草の戸も住み替る代そひなの家
江東区常盤町1丁目6-3/芭蕉記念館庭園/昭和59年(1984)
10月12日/江東区建立/江東区長小松崎軍次書
2. あらたふと青葉若葉の日の光
(あらとふ当青葉わ可葉の日の光)
日光市久次良町/大日堂跡/再建 明治42年(1909)10月/明治35年洪水で流失/山崎氏建立
3. 豎横の五尺にたらぬ草の庵結ぶもくやし雨なかりせば
仏頂禅師
(多て横能五尺にた羅怒草乃庵武須婦毛くやし阿め奈加里世者)
栃木県黒羽町 雲巖寺
4. 啄木も庵は破らず夏木立
(木つつ起毛以本はやふ良寸夏こ多知)
栃木県黒羽町 雲巖寺
5. 野を横に馬索むけよほとときす はせを
那須郡黒羽向町 常念寺 山門前/年代未詳/真蹟
6. 田一枚うゑてたち去る柳かな 芭蕉
(田一枚うゑ天太ち去る柳可奈)
那須郡那須町芦野/遊行柳/寛政11年(1799)四月/江戸の春蠶建立/真蹟/西行の歌碑、蕪村の句碑有り
7. 道の辺に清水流るる柳陰しばしとてこそ立ち止まりつれ
西行
栃木県那須町 遊行柳
8. 笈も太刀も五月に飾れ紙幟(のぼり) 芭蕉翁
(笈も太刀もさつき尔かされ紙のぼり)
福島市飯坂町平野/医王寺/谷蕉川建立/旧碑・寛政12年(1800)10月
9. 「おくのほそ道」松島瑞巖寺の碑
「そもそも(抑)、ことふりにたれど・・・」
宮城郡松島町松島/雄島瑞巖寺境内/嘉永4年(1851)3月15日/側背・千葉三奈書/本文・本城雨乞山二十三世無庵叟靈応需書

芭蕉の句・拓本展

出品目録

10. 草や兵共が夢の跡
西碧井郡平泉町字大沢/毛越寺 右松林内(南大門跡)/明和6年(1769)/碓花建立/毛越寺也庵禅師真筆模筆
11. 蚤虱馬の尿する枕もと
最上郡最上町埴田/封人の家(旧有路氏宅)/昭和36年(1961)10月末日/最上町建立/小宮豊隆書
12. 山刀伐峠
高山森々として一鳥声聞かず・・・
尾花沢市山刀峠山頂/昭和42年(1967)11月20日/山形県奥の細道観光資源保存会・尾花沢市最上町建立/加藤楸邨書
13. 涼しさを我か宿にしてねまる也
(涼しさを我宿尔して衾ま流也)
尾花沢市字尾花沢/養徳寺/宝暦12年(1762)夏/柴崎路水・鈴木素州建立
14. 閑さや巖にしみ入蟬の声 芭蕉翁
山形市山寺/立石寺・根本中堂西側/嘉永6年(1853)4月/半沢二丘建立/高梨一具書/碑の左右に一具・二丘・川文らの三句刻
15. 有難や雪をかほらす南谷
(有難や雪越かほら須南谷)
東田川郡羽黒町羽黒山/南谷別院跡/文化15年(1818)4月21日/羽黒山別當覺諱建立/西大路三位隆明書
16. 五月雨をあつめて早し最上川 芭蕉
東田川郡立川町清川/清川小学校・校庭(旧關所跡)/昭和31年(1956)10月/地元有志建立/加藤楸邨書
17. 三山三句の碑
涼しさやほの三日月の羽黒山
(涼しさや本能三日月の羽黒山)
語られぬ湯殿にぬらす袂かな
(加多羅禮怒湯登廻仁奴良須當毛東迦那)
雲の峰いくつにつれて月の山
(雲能峰以久ツ俱須礼て月の山)
東田川郡羽黒町・羽黒山山頂
三山合祭殿前/文政8年(1825)4月 羽黒山別當覺諱建立/転法輪内大臣公修公書/昭和40年7月野口より移建、傍に芭蕉像有
18. 語られぬ湯殿にぬらす袂かな 芭蕉翁
東田川郡朝日村/湯殿山神社前/昭和30年(1955)9月/佐々木市朗建立/小宮豊隆書/左側に曾良の句碑

芭蕉の句・拓本展

出品目録

19. 象潟の雨や西施がねぶのはな
由利郡象潟町/蛭満寺/昭和64年(1989)8月1日
 20. 五月雨の夕日や見せて出雲崎 東華坊
荒海や佐渡に横たふ天の川 芭蕉翁
雪に波の花やさそうて出雲崎 廬元坊
三島郡出雲崎町/妙福寺・二基のうち新碑/大正11年(1922)3月/佐藤吉太郎耐雪建立
 21. 市振にて
一つ家に遊女もねたり萩と月 芭蕉
(一つ家尔遊女も称多里萩と月)
西頸城郡青海町市振/長円寺・門入って左/大正14年(1925)/二十二世深沢大峯建立/糸魚川の相馬御風書
 22. 氣比のみや
なみたしくや遊行のもてる砂の露 はせを
敦賀市曙町2-68/氣比神社/昭和31年(1956)翁忌/敦賀俳句同好者有志建立/昭和59年改刻真蹟拡大季石
 23. い勢にまかりけるをひとの送りければ
蛤のふたみに別行秋そ はせを桃
(蛤乃婦多み尔別行秋ぞ)
大垣市船町2丁目史蹟船町港跡/水門川畔(奥の細道むすびの地)/昭和32年(1957)9月6日/大垣市文化財協会建立/旧主藤堂家秘蔵の遺墨から複写し蛤塚として建立した
- ### 【写真】
24. 立石寺の芭蕉像
 25. 立石寺・秘宝館前
「芭蕉翁/静かさや岩にしみ入蟬の声」の碑
山形市山寺/立石寺・参道途中左(せみ塚)/寛延元年(1748)/坂部壺中ら建立/初め山門の所に建立、昭和11年冬現地へ移す坂部壺中が「閑さや・・・」の短冊を埋めて建立
 26. ふる池や蛙飛びこむ水の音 はせを
江東区常盤町1丁目6-3/芭蕉記念館 庭園/昭和30年(1955)6月/飯田源次郎建立/要津寺親和書模刻/昭和56年深川芭蕉庵より移建
 27. 道の辺に清水流るる柳陰しばしとてこそ立ち止まりつれ/西行
那須郡那須町芦野/遊行柳